

●復活後第三主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十二編」

いかに幸いなことでしょう

背きを赦され、罪を覆っていたいただいた者は、

いかに幸いなことでしょう

主に咎を数えられず、心に欺きのない人は、



苦しみと慰めの共同体

コリントの信徒への手紙二に取められている手紙をパウロが書いたのは、コリントの教会との信頼関係が揺らいでいたからです。信頼関係が崩れれば、教会を牧することはできません。ですから、どうしてもその関係を取り戻す必要があります。

こういうときに、相手の言葉に十分に耳を傾け、自分もきちんと考えを伝えるということは大事なことです。しかしパウロはここでもっと大切な姿勢を示しています。それは相手を信仰者として扱うことです。ですからパウロは手紙の初めに「コリントにある神の教会へ」「聖なる者たちへ」と言葉を連ねます。

コリントの教会は問題の多い教会でした。指導者を巡る争いがあり、性的な不品行が行われ、信仰の基本である復活を信じない人々もおりました。こんな教会でどうするのか、と思われるような群に対しても、パウロは、彼らが神の教会であること、聖なる者たちであることを明確にするのです。教会は、自分を信じるることによって教会になるからです。だから「あなたがたについてわたしたちが抱えている希望は揺るぎません」と語ります。そして続けて「あなたがたが苦しみを共にしてくれているように、慰めをも共にしていると知っているからです」と言います。コリントの教会にも、パウロの苦しみ

を自分の苦しみとしている人たちがいたのでしょう。あるいはパウロの苦しみになつていく人たちもまた、彼らなりの苦しみを味わっていたかも知れません。その苦しみは、キリストの苦しみが溢れて自分たちに及んでいるものです。人の罪が作り出す苦しみは、まずキリストの苦しみであつたからです。そして、苦しみを共有している者たちは、慰めをも共有するのです。

旧約聖書では、慰めとは、悔い改めという意味があるそうです。悔い改めとは、帰って来ることです。神さまが帰って来てくださることが、慰めです。パウロは伝道の生涯の中で、そのよう慰めをたびたび経験したのでした。

彼は「アジア州で耐えられないほどの圧迫されて、生きる望みを失ってしまった」と言いながら「自分を頼りにすることなく、死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりました」と言います。もう絶望だ、と言いつつ、それが最後の言葉ではないのです。そこから新しい神との交わりが始まるのです。だから望みが絶えることはありません。それが信仰者の生活です。

(Ⅱコリント一・三〇七)

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

《今日のお知らせ》

- 定例役員会をカナンルームで行います。役員の方はご参加ください。
- 来週、二八日は四月総会が予定されています。教会員はご参加ください。
- 次回の洗礼式と転入会式は七月二八日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、五月一九日までに牧師宛ご提出ください。願書は事務所にあります。

《ぶどうの会より》

礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《今後の予定》

- 四月二八日 四月教会総会
- 五月五日 信仰者たちに学ぶ会
- 五月一九日 ペンテコステ礼拝

《教会事務所より》

- 皆さまの状差しに四月総会資料を配布しました。各会計の決算報告書は本日の役員会承認後、総会当日に配布予定です。また「教会員の心得」につきましても、総会当日に配布いたします。
- なお、状差しに配布資料以外の私物等が入っているため、資料が配布できない場合があります。状差しには極力、配布物・資料以外は入れないよう皆さまのご協力をお願い申し上げます。

《公 告》

左記により、四月教会總會を開催致します。
現任陪餐会員はご参加下さい。

2024年4月21日(日)

キリスト品川教会

代表役員 黄允湜

記

日時 2024年4月28日(日) 12時10分 (目途)

場所 グローリア・チャペル・地下ホール

及 びリモート

議題

1. 2023年度教勢報告承認に関する件
2. 2023年度諸会計補正予算及び決算報告、
財産目録承認に関する件
3. 2023年度諸報告に関する件
4. 菊池美穂子先生の副牧師辞任に関する件

※議員資格 満18才以上の現任陪餐会員。

(陪席) 義務教育終了後満18才未満の現任陪餐会員と不在会員、教会員でない附属幼稚園教諭は、教会總會に陪席することができません。

(キリスト品川教会教規 第3章第14条より)

《今日の子ども礼拝》

説教 「よいサマリア人」

聖書 ルカ10章25〜37節

説教者 宮間彰広 兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝 (午前9時20分・地下ホール)

説教 「本当に必要なものは」

聖書 ルカ12章13〜21節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

●主日礼拝 (午前10時30分)

讚美歌 153番 335番

説教 「自分の命を愛する者はそれを失う」

聖書 ヨハネ12章12〜26節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 148番 268番
説教 「何を惜しもうか」
聖書 ヨハネ12章1～11節(新約P.191)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「アレグロ・モデラート」
(ソナタ第1番変ホ長調より) J.S.バッハ

○ 讃美歌148番

1. すくいぬしは ハレルヤ
よみがえりたもう ハレルヤ
かちどきあげて ハレルヤ
み名をたたえよ ハレルヤ
2. 十字架をしのび ハレルヤ
死にて死にかち ハレルヤ
生きていのちを ハレルヤ
ひとにぞたまう ハレルヤ
3. 主の死によりて ハレルヤ
すくいはなりぬ ハレルヤ
あまつつかいは ハレルヤ
ともにぞうたわん ハレルヤ

アーメン

○ 聖歌隊による讃美

「主は生きておられる」 ウィリアム・J・ガイサー 作曲
主イエスと呼びまつる
み神の一人子
空しい墓こそが
救いのみ枝 証(あかし)する
確かに生きておられる
おそれは消え去り
み力与えたもう
よみがえりの主 仰ぐとき

いつの日か川を渡り
最後の戦いに
勝利を得させたもう
今も主 生きておられるから
主が生きておられるから
明日に目を向け
望みに満たされ
我らも生きる 主とともに
ハレルヤ ハレルヤ

○ 讃美歌268番

1. まごころもて 仰ぎまつらん
世のため のろいの木につきたまいし
すくいぬし わが主よ
2. わがつみとがけがれもみな
あらいて 今よりのち きみのものと
なさせたまえ わが主よ
3. いとゆたけき めぐみをもて
ひえたる わがところに きよけき火を
もやしたまえ わが主よ
4. 死のかわなみ うちよすとも
やすけく み手によりて あまつ岸に
着かせたまえ わが主よ

アーメン

聖餐曲「きよけき心を」 G.バーム

後奏曲「アレグロ」(ソナタ第1番より) J.S.バッハ

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。